

# 2024年3月期第2四半期 連結決算説明会

2023年11月16日



株式会社 シード



証券コード  
7743

1. 2024年3月期 第2四半期 決算概要
2. 2024年3月期 第2四半期 トピックス
3. 2024年3月期 見通し
4. 参考資料

- 1. 2024年3月期 第2四半期 決算概要**
2. 2024年3月期 第2四半期 トピックス
3. 2024年3月期 見通し
4. 参考資料

## 国内

- 行動制限の解除による消費活動の活発化に伴う需要の増加
- 1日使い捨てタイプへの切り替え継続
- オルソケラトロジーレンズの普及拡大、遠近両用及び乱視用コンタクトレンズの伸長

## 海外

- 国や地域による景気の影響がありながらも、アフターコロナによる需要拡大と近視人口の増加を要因として市場は伸長

## 〈今後の戦略〉

- 日本国内での安定した成長を軸に、円安メリットを生かし、海外各国での需要回復を積極的に取り込むことにより海外事業規模の拡大と収益基盤の強化を進める
- 生産数量の拡大を図り国内外への供給力増加と市場競争力を高める新商品の開発生産体制を整備し、生産力全体の強化を行う
- 遠近両用や乱視用のスペシャリティレンズ、シリコンハイドロゲルレンズ、カラーコンタクトレンズやオルソケラトロジーレンズの更なる需要創出を目指すことを通じたシェアアップを目指す

# 2024年3月期 第2四半期 連結決算ハイライト

連結 [百万円] 百万円未満切捨て	2022/3期 2Q	2023/3期 2Q	2024/3期 2Q	前期比較		2024/3期通期見通し (2023/11/13修正)	進捗率
				増減額	増減率		
売上高	14,024	14,884	<b>15,947</b>	+1,062	+7.1%	33,000	48.3%
営業利益	752	477	<b>1,307</b>	830	+173.9%	1,750	74.7%
(営業利益率)	5.3%	3.2%	8.2%	-	+5.0%	5.3%	-
経常利益	713	544	<b>1,367</b>	822	+151.0%	1,750	78.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	278	133	<b>826</b>	693	+519.2%	1,100	75.1%

売上高	国内のコンタクトレンズ需要が順調に拡大、売上高は159.4億円(前年同期比7.1%増)
営業利益	売上高増加及び経費コントロールに伴い営業利益13.0億円(前年同期比173.9%増)

# 通期業績予想及び配当予想の修正

## ①連結通期業績予想の修正

[百万円]

百万円未満切捨て

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回予想(2023年5月12日)	33,000	1,700	1,650	700	27.96円
今回修正(2023年11月13日)	33,000	1,750	1,750	1,100	43.94円
増減額	—	50	100	400	—
増減率(%)	—	2.9%	6.1%	57.1%	—
参考：前期実績	30,593	629	554	△316	△12.63円

## ②個別通期業績予想の修正

[百万円]

百万円未満切捨て

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(2023年5月12日)	29,000	1,800	1,750	1,100	43.94円
今回修正(2023年11月13日)	29,000	1,900	1,900	1,200	47.94円
増減額	—	100	150	100	—
増減率(%)	—	5.6%	8.6%	9.1%	—
参考：前期実績	27,798	1,458	1,435	747	29.84円

配当予想の修正：1株当たり年間配当金額1株につき**12円**→**15円**(配当性向34.1%)

# 事業別売上高

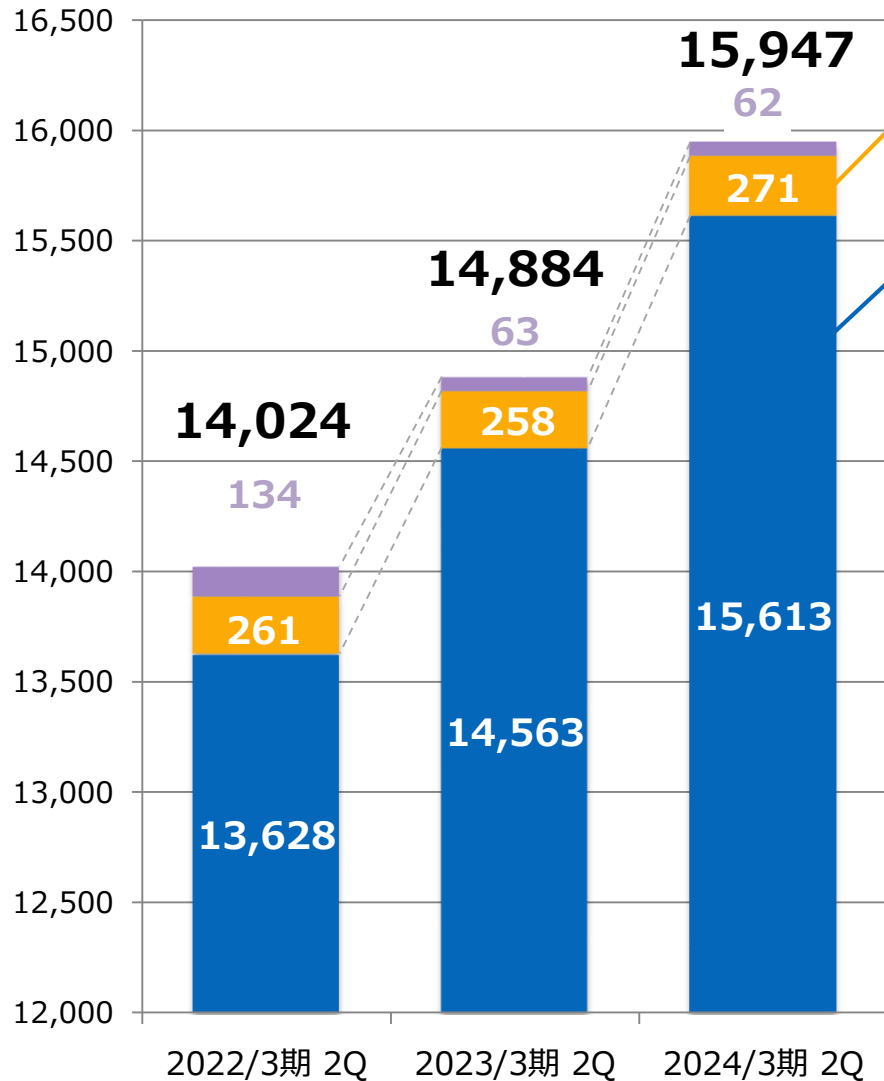
連結

[百万円]

百万円未満切捨て

■コンタクトレンズ ■ケア用品 ■その他

※コンタクトレンズ：光学器械含む  
 ※その他：眼内レンズ・眼鏡事業含む

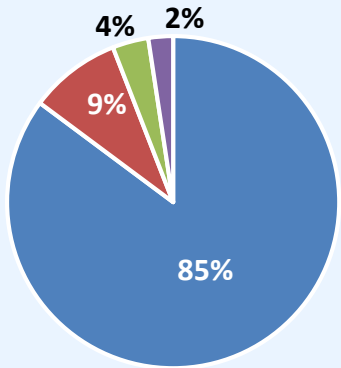


✓ 「オルソケラトロジーレンズ」関連のケア用品が増加したことにより前年同期比4.5%増

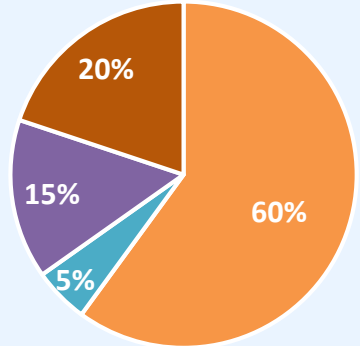
✓ 「ワンデーピュアシリーズ」の需要増等により前年同期比7.1%増

単体

売上高CLカテゴリー比率



売上高1dayカテゴリー比率



カテゴリー別対前期増減比率（単体卸売ベース）

ワンデーピュア	10.5%増	2ウィークピュア	2.5%増
ワンデーファイン	1.2%減	サークル・カラー	0.5%減
オルソケラトロジー	14.3%増	遠近両用	11.0%増

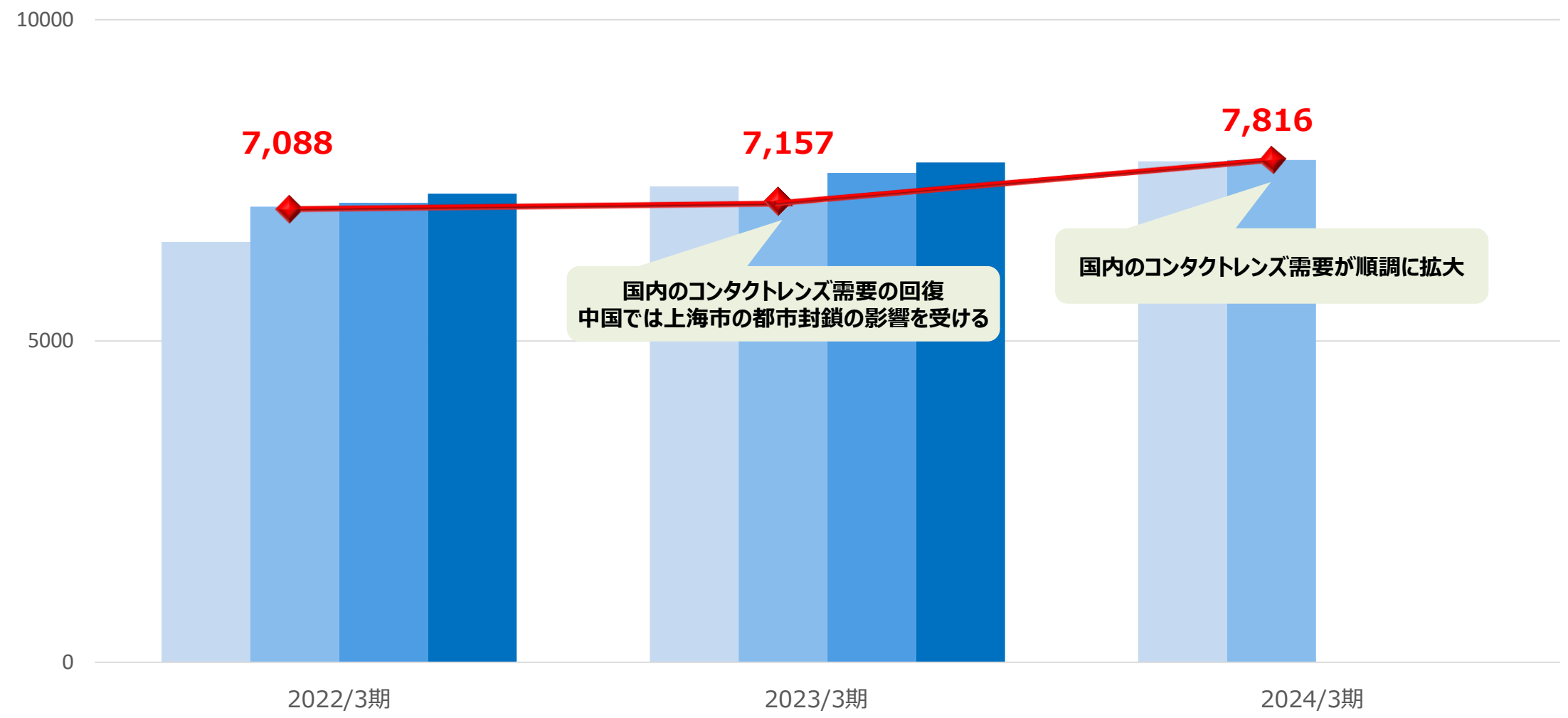
※ワンデーファイン以外はシリーズ合計  
 ※遠近両用は使い捨てとコンベンショナル合計（東レ製品は除く）

# コンタクトレンズ事業売上高 四半期推移

連結 ◇卸売りベース

[百万円]  
百万円未満切捨て

1 Q 2 Q 3 Q 4 Q ◆第2 四半期売上高



国内のコンタクトレンズ需要の回復  
中国では上海市の都市封鎖の影響を受ける

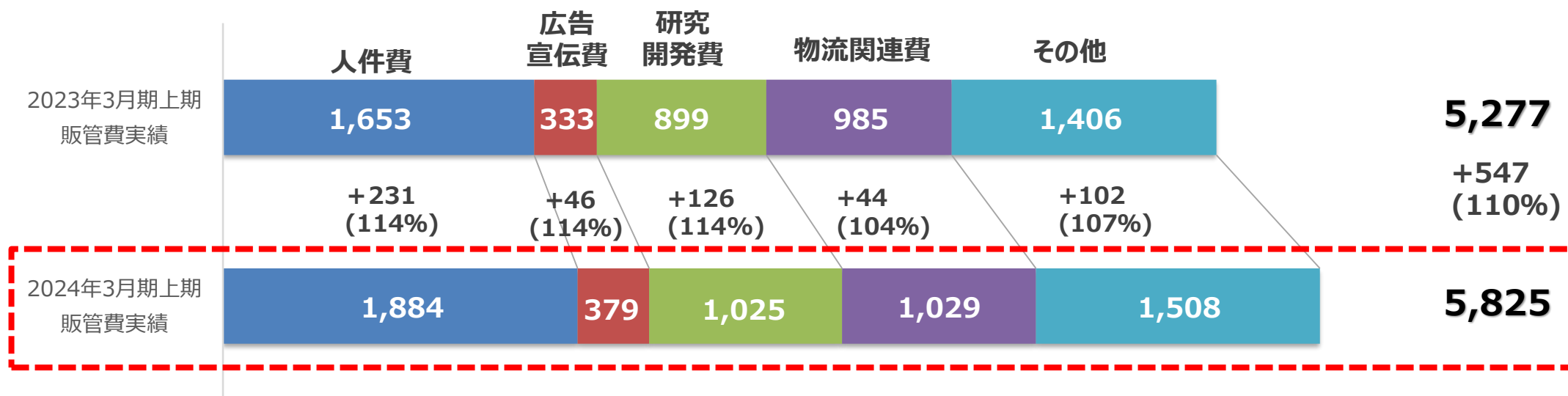
国内のコンタクトレンズ需要が順調に拡大



# 販管費の状況

(連結)

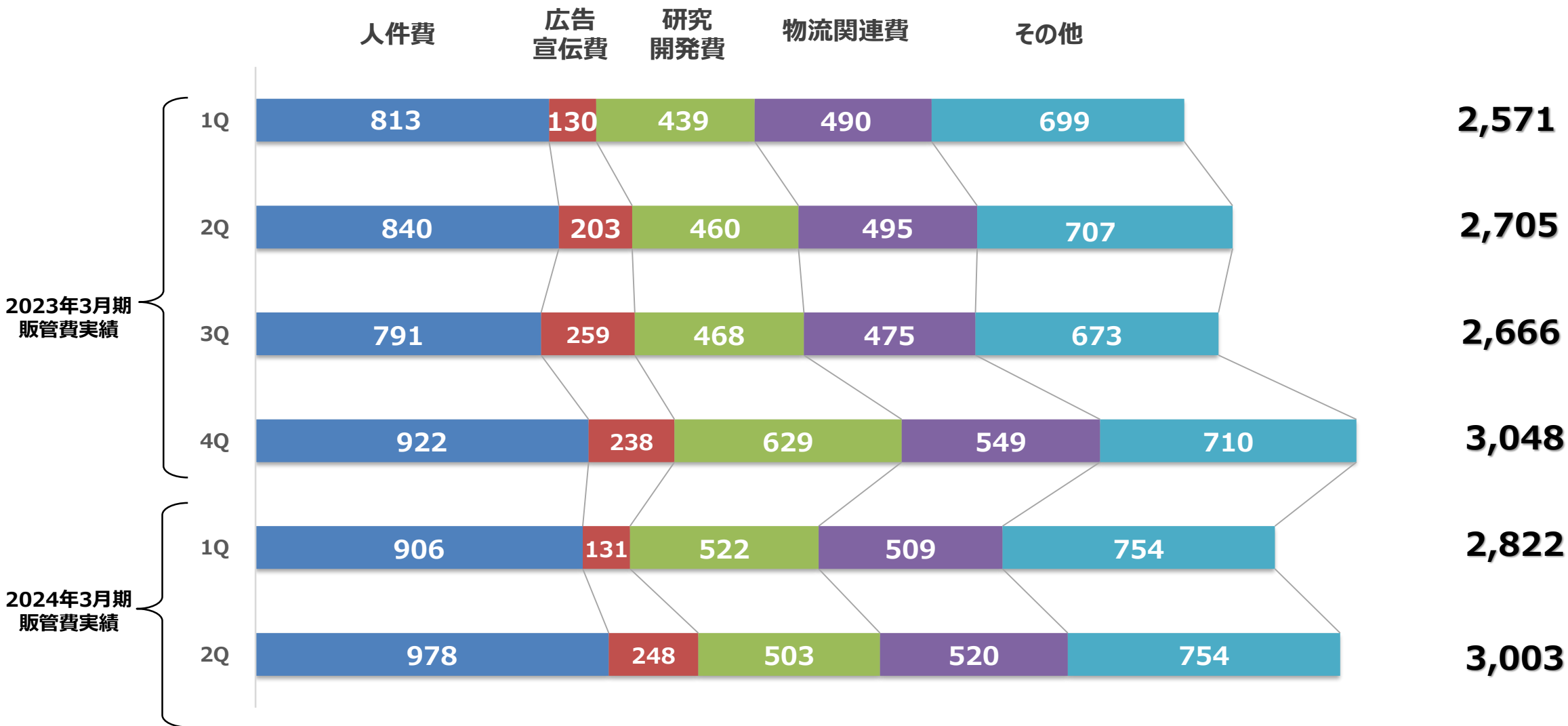
金額単位：百万円 百万円未満切捨て



- 人件費 : 人員の増加・給与改定（昇給、手当等の見直し）を行ったことにより、前年同期比で増加
- 広告宣伝費 : 売上高増加に伴い、前年同期比で増加
- 研究開発費 : 1dayPure EDOF・オルソケラトロジーレンズの近視進行抑制に係る治験関係費用及びDDSコンタクトレンズの治験関係費用により増加
- 物流関連費 : 需要増加に伴う海外への輸送機会が増えたことにより、前年同期比で増加
- その他 : 基幹システムや情報セキュリティ関連費用の増加  
ブランド戦略・価値上昇のためのコーポレートブランディングに関する費用の発生

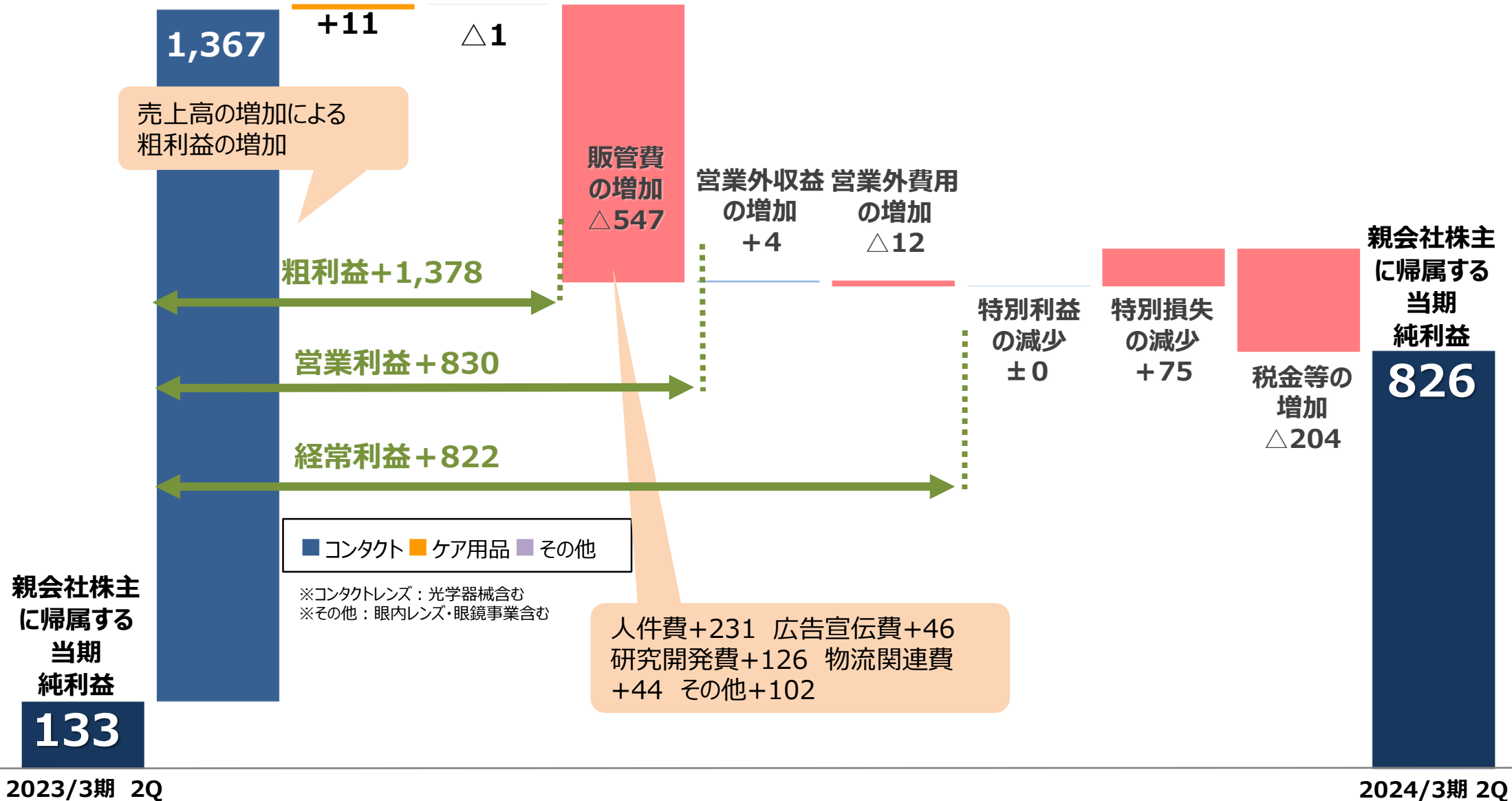
# 参考資料：販管費の状況

金額単位：百万円 百万円未満切捨て



# 利益増減分析

金額単位：百万円 百万円未満切捨て



# 財務状況推移

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

	2023/3月末		2024/3期 2Q		前期比較
	金額	構成比	金額	構成比	
<b>資産の部計</b>	<b>40,011</b>	<b>100.0</b>	<b>42,915</b>	<b>100.0</b>	<b>2,903</b>
流動資産	17,619	44.0	18,441	43.0	822
内 現預金	4,938	12.3	5,711	13.3	772
商品及び製品	5,476	13.7	5,126	11.9	△ 350
貸倒引当金	△ 25		△ 32		-
固定資産	22,392	56.0	24,473	57.0	2,081
内 有形固定資産	19,173	47.9	21,258	49.5	2,085
無形固定資産	1,202	3.0	1,133	2.6	△ 69
<b>負債の部計</b>	<b>27,865</b>	<b>69.6</b>	<b>30,150</b>	<b>70.3</b>	<b>2,285</b>
流動負債	17,323	43.3	18,956	44.2	1,632
内 短期借入金	12,608	31.5	13,050	30.4	441
短期リース債務	1,025	2.6	1,314	3.1	288
固定負債	10,542	26.3	11,194	26.1	652
内 長期借入金	5,040	12.6	4,839	11.3	△ 201
長期リース債務	2,215	5.5	2,976	6.9	760
<b>純資産の部計</b>	<b>12,145</b>	<b>30.4</b>	<b>12,764</b>	<b>29.7</b>	<b>618</b>
<b>負債・純資産計</b>	<b>40,011</b>	<b>100.0</b>	<b>42,915</b>	<b>100.0</b>	<b>2,903</b>

売上増加に伴い増加

生産量を超える出荷により減少

鴻巣研究所の新規製造設備の増設、3号棟底地購入及び本社新社屋関係の投資

新本社建設資金 着手金借入

鴻巣研究所の新規製造設備の増設に伴う増加

連結

[百万円]  
百万円未満切捨て

	2023/3期 2Q	2024/3期 2Q	前期比較
<b>営業活動によるC・F</b>	<b>1,307</b>	<b>3,078</b>	<b>1,771</b>
内 税金等調整前四半期純利益	446	1,344	898
減価償却費	1,273	1,263	△ 9
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△ 848	306	1,155
仕入債務の増減額 (△は減少)	128	△275	△ 404
<b>投資活動によるC・F</b>	<b>△ 638</b>	<b>△ 1,741</b>	<b>△ 1,103</b>
有形固定資産取得	△ 650	△ 1,678	△ 1,027
無形固定資産の取得	△ 4	△ 16	△ 11
事業譲渡による収入	150	-	-
有形固定資産の解体による支出	△ 92	-	-
<b>財務活動によるC・F</b>	<b>△ 642</b>	<b>△ 615</b>	<b>26</b>
内 短期借入金の純増減額	1,212	333	△ 878
長期借入金の借入	4	878	873
長期借入金の返済	△ 1,156	△ 1,017	139
リース債務の返済による支出	△ 499	△ 490	9
<b>現金及び現金同等物 四半期末残高</b>	<b>3,925</b>	<b>5,674</b>	<b>1,748</b>

売上高・粗利益の増加に伴い増加

製品在庫の減少により大きく増加

鴻巣研究所の新規製造設備  
増設及び本社新社屋関係の取得

2023/3期1Q  
(株)シードアイサービス  
一部店舗譲渡

# キャッシュ・フロー：関連指標推移

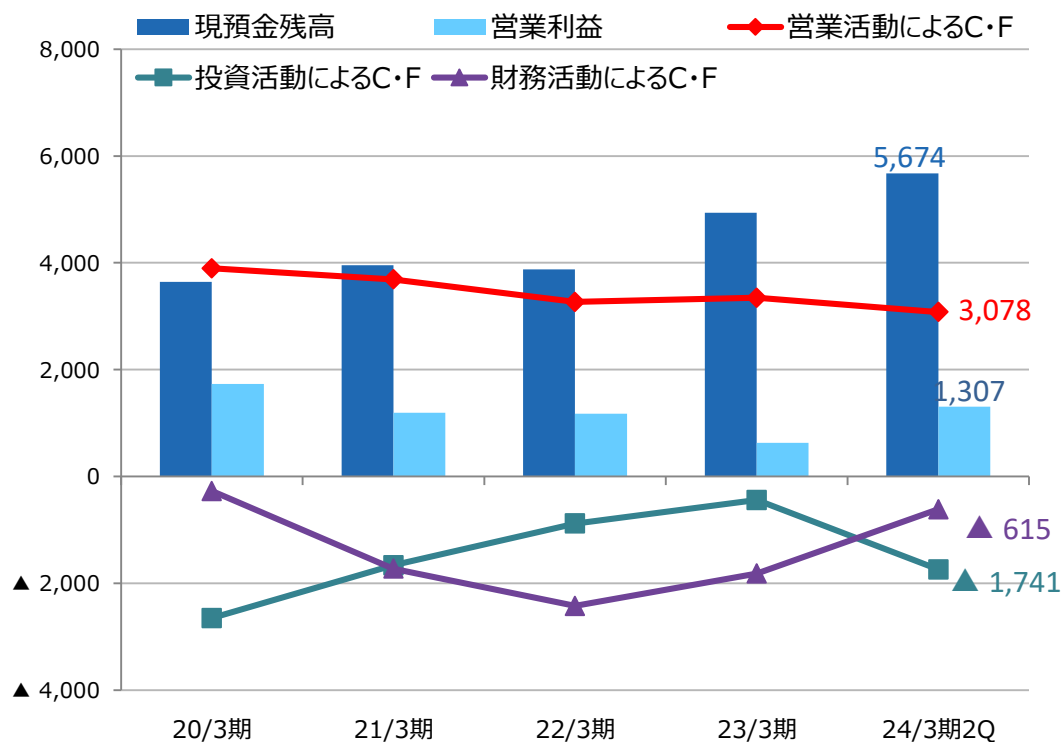
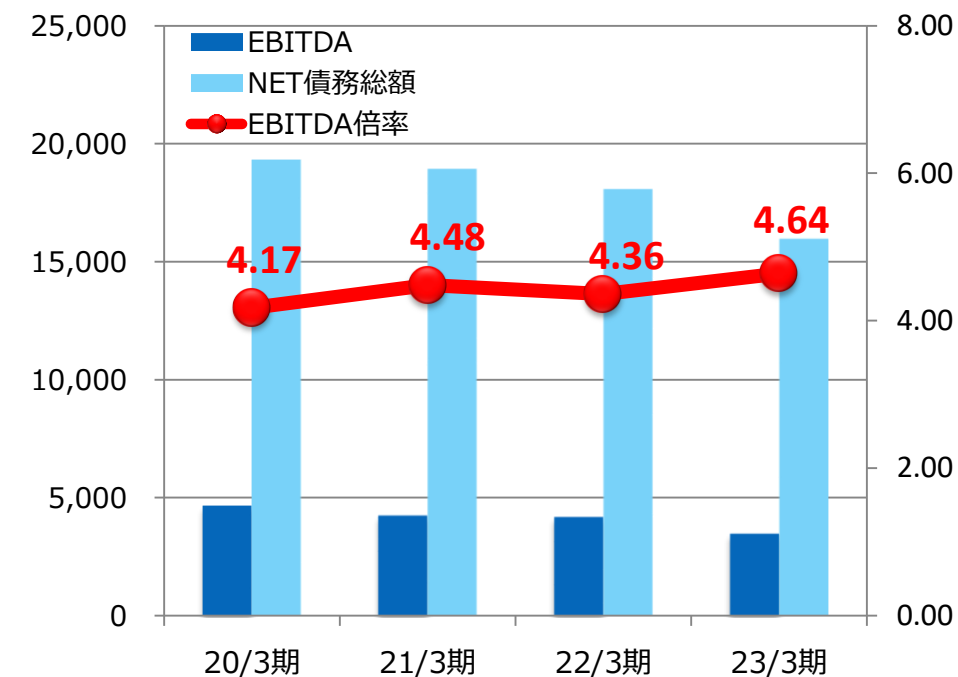
連結

[百万円] 百万円未満切捨て

※2021年3月期以前については、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等適用前の数値

	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2023/3期 2Q	2024/3期 2Q
<b>EBITDA</b>	<b>4,621</b>	<b>4,218</b>	<b>4,140</b>	<b>3,438</b>	<b>1,962</b>	<b>2,759</b>
<b>EBITDAマージン</b> EBITDA÷売上高	<b>14.5%</b>	<b>14.7%</b>	<b>14.4%</b>	<b>11.2%</b>	<b>13.2%</b>	<b>17.3%</b>

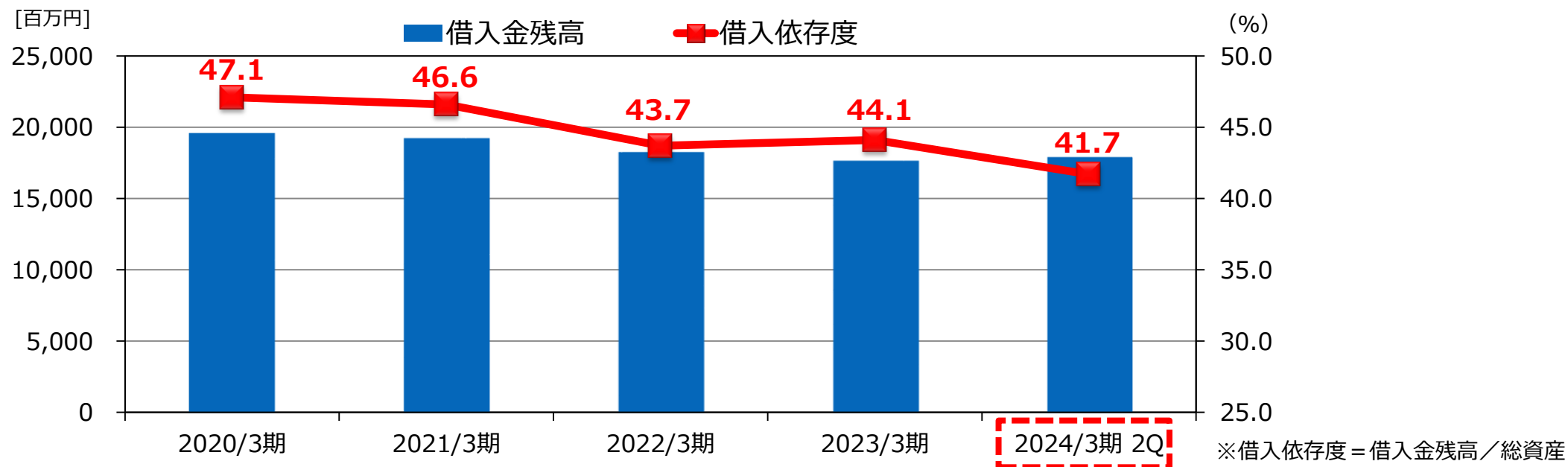
[百万円]  
百万円未満切捨て



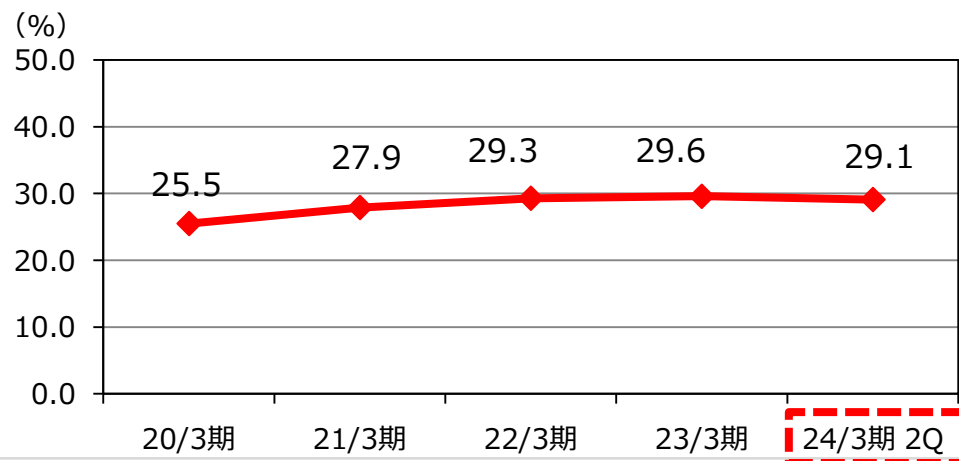
◇EBITDA=経常利益+減価償却費+のれん償却+支払利息 ※NET債務総額=有利子負債+リース債務-現預金

連結

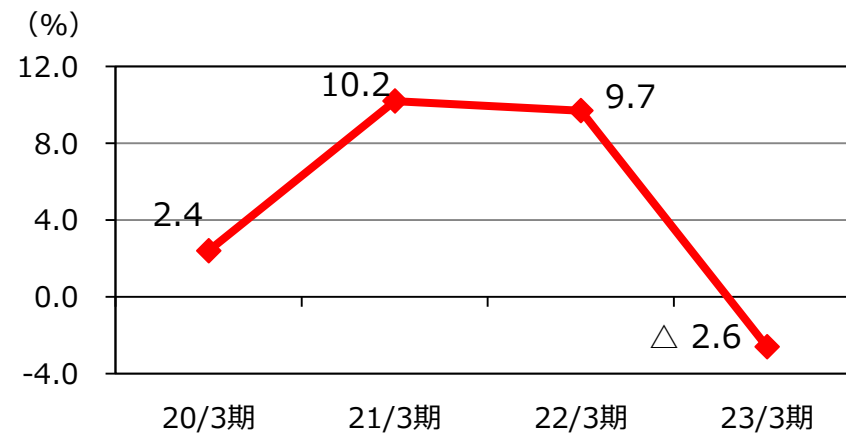
## ◆借入金の推移



## ◆自己資本比率



## ◆自己資本当期純利益率 (ROE)



# Made in Nippon Japan Qualityを世界へ

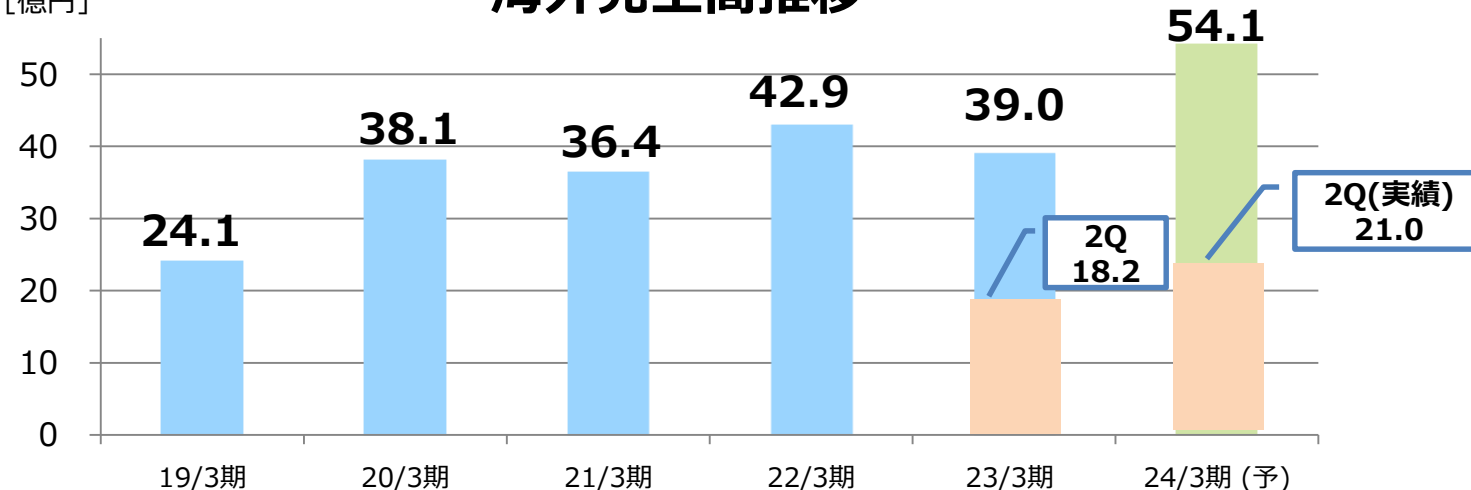
アジア地域、ヨーロッパ地域を中心に  
**40以上の国と地域**に展開中

## 主な海外商品



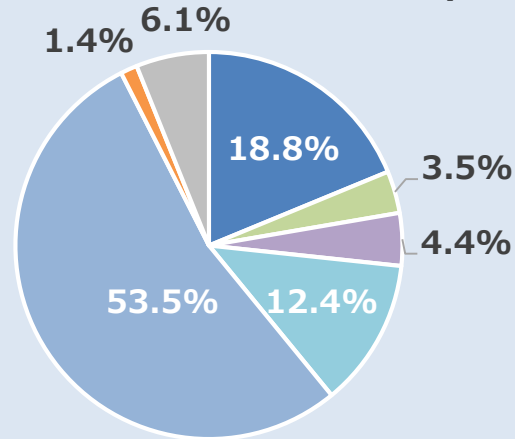
## 海外売上高推移

[億円]



※現地法人売上 + 当社から現地代理店への卸売合計

## 海外売上高構成比 (2024/3期 2Q)



- 中国
- シンガポール
- 台湾
- 英国
- 欧州
- その他現地法人
- 現地法人以外

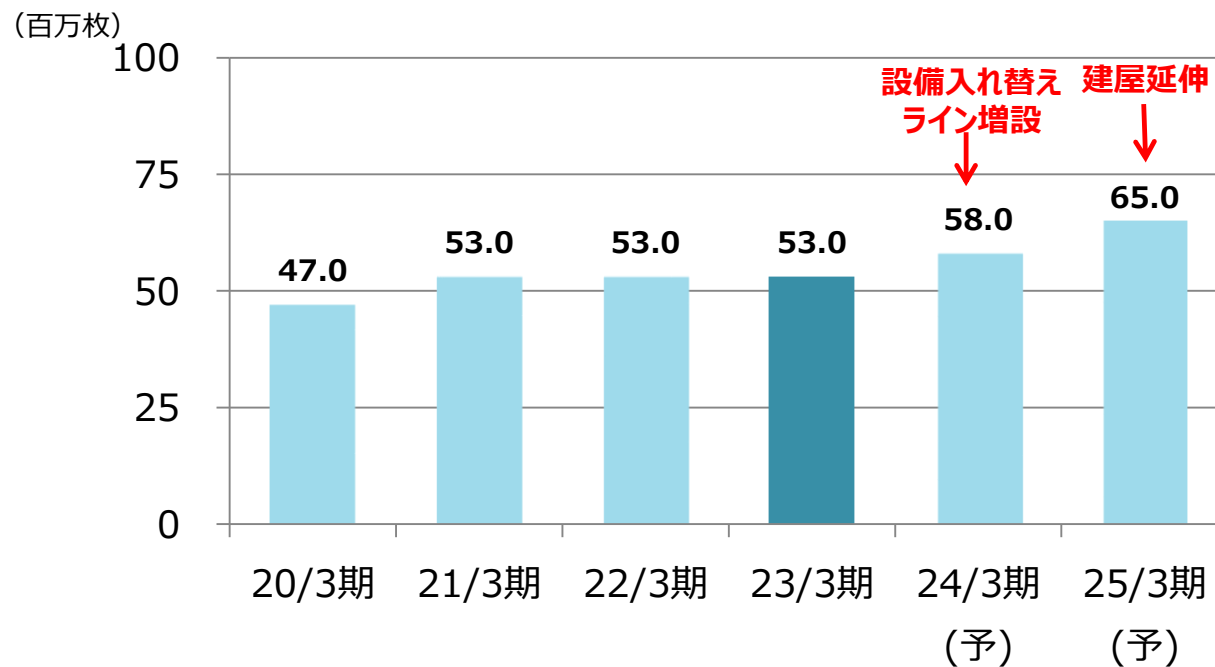


1. 2024年3月期 第2四半期 決算概要
- 2. 2024年3月期 第2四半期 トピックス**
3. 2024年3月期 見通し
4. 参考資料

＜鴻巣研究所全体の鳥瞰図＞



＜月間製造能力推移（1day・2week）＞



時期	計画内容 ※1	製造能力枚数/月 ※2
2024年3月期	1号棟 設備の入れ替え 3号棟 ラインの増設	5,300万枚→5,800万枚
2025年3月期	2号棟別館 延伸	5,800万枚→6,500万枚

※1 開発用ライン含む最大計画数  
 ※2 現時点での見積もり額

寝ている間に視力矯正ができる  
オルソケラトロジーレンズ

寝る時にレンズを装用することで、角膜形状を変化させ、  
外した後も裸眼で過ごすことができる治療法。

視力を矯正したい人が



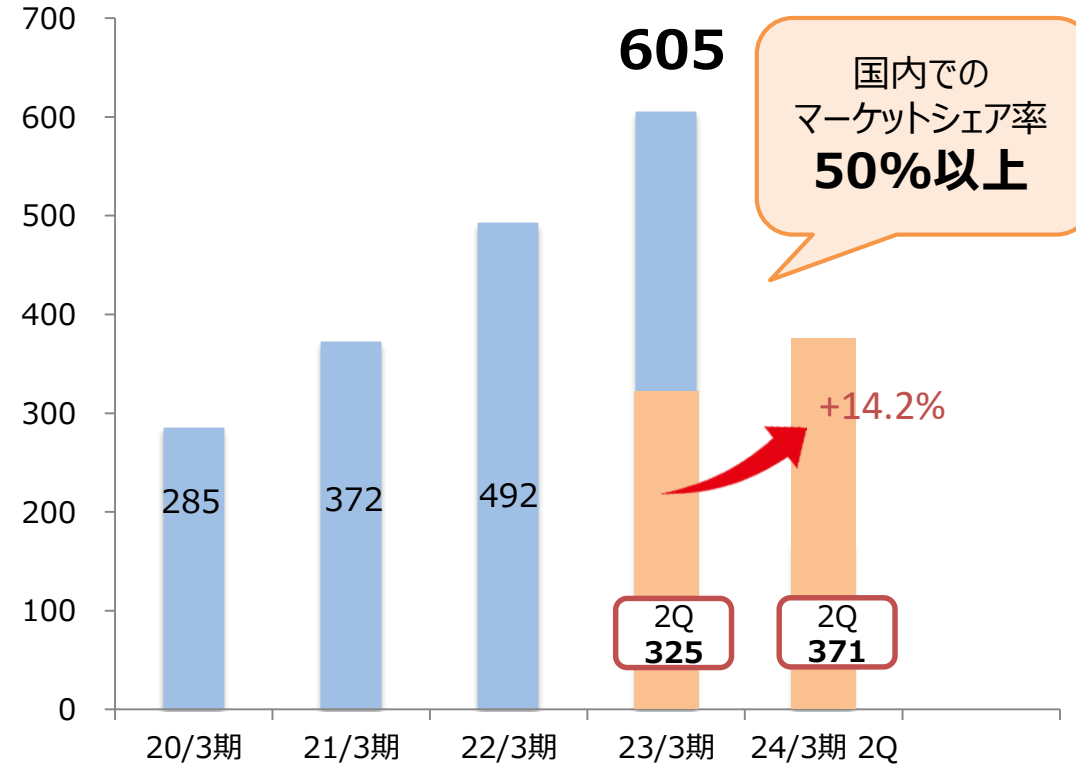
夜にレンズをつけて寝ると...

日中は裸眼でよく見える!



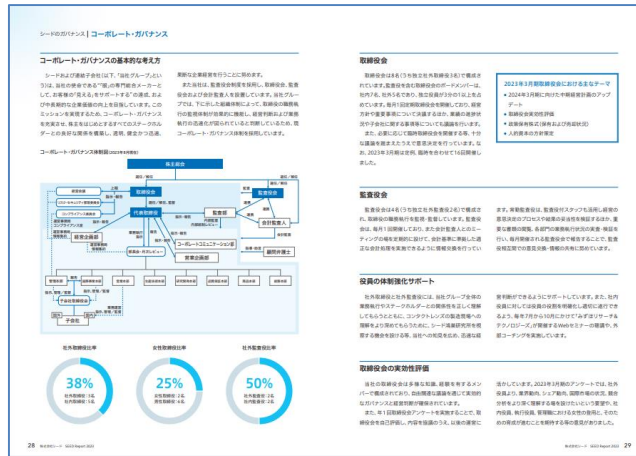
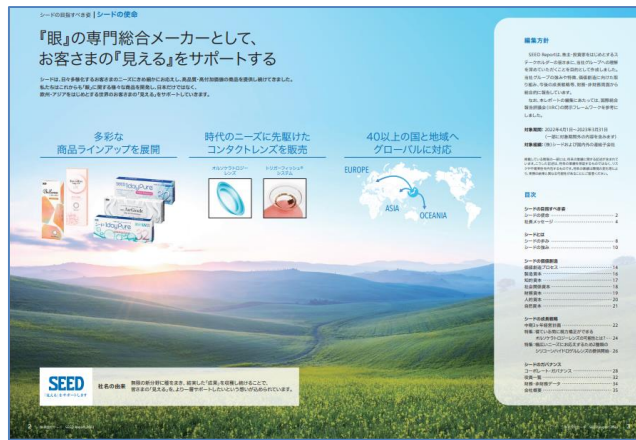
[百万円]  
百万円未満切捨て

オルソケラトロジーレンズ売上 ※定額制を含む



国内外の状況

- ・販売中：日本、東南アジア、香港、インド / 欧州 (Wöhlk社製品を販売)
- ・許可取得：中国のパートナー企業へレンズ素材(Wöhlk社製)の供給開始済



当報告書は、当社の価値創造を担う6つの資本の紹介や、中期3ヶ年経営計画『～「見える」に新たな価値を～』の進捗状況、成長戦略、サステナビリティに関する施策等について説明しております。

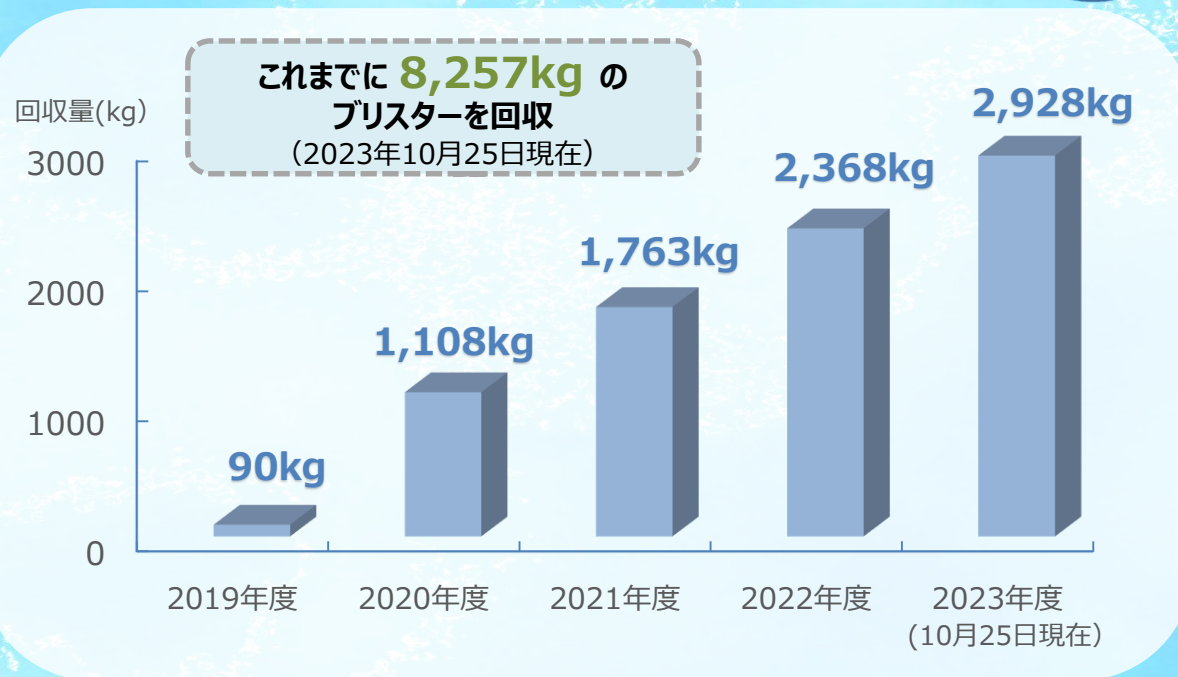
# BLUE SEED PROJECT ～海に愛（Eye）を～



● **ブリストーのリサイクル活動** 使い捨てのコンタクトレンズのブリストーを回収し、資源としてリサイクルをするプロジェクト



お客さまにお持ちいただいたブリストーはリサイクル事業者へ販売し、需要が高まっている物流のプラスチックパレットに生まれ変わります。  
（サーキュラエコノミーの実現）  
また、リサイクル事業者へ販売し得た収益は、海の保全活動をしている団体へ寄付を行っております。



## ～回収施設～

眼科・販売店（関連子会社含む）1,020施設、企業39社、学校8校、行政1市町村に回収箱設置のご協力をいただいております。順次拡大中（2023年10月25日現在）

## ■ 次世代の自社開発組成シリコンハイドロゲルレンズ開発



シリコンハイドロゲル

シリコンハイドロゲルレンズの開発



国内産初の使い捨てレンズ



遠近両用



乱視用



スマホ眼用

スペシャリティレンズの開発

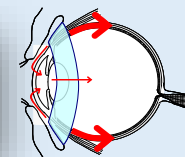
## ■ 近視進行抑制

近視進行抑制の効果を確認するため、国内でシード1dayPure EDOF、オルソケラトロジーレンズを用いての治験開始。国内外の大学にて臨床研究を実施中



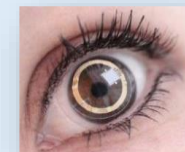
## ■ DDSコンタクトレンズ

DDS(薬物送達システム)コンタクトレンズの治験開始



## ■ スマートコンタクトレンズの開発

次世代眼圧計測コンタクトレンズ開発中



## ■ Personalization

お客さま一人ひとりに合わせた製品の開発  
新製品の承認取得済み、量産体制準備中

次世代商品の開発

# プライム市場上場維持基準への適合状況の推移および計画期間

プライム市場の上場維持基準への適合状況は、「流通株式時価総額」および「1日平均売買代金」について、基準を満たしていません。下表のとおり、2024年3月期末までに上場維持基準を満たすために、引き続き各種取組みを進めてまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均売買代金
当社の適合状況 及び その推移	2021年6月30日時点 ※1	17,146人	104,318単位	81.4億円	41.6%	0.45億円
	2022年12月31日時点※2	－	－	－	－	0.16億円
	2023年3月31日時点※3	24,971人	106,571単位	57.0億円	42.5%	－
	(参考)2023年9月29日時点※4	－	－	88.0億円	－	0.22億円
プライム市場 上場維持基準		800人以上	20,000単位	100億円	35%	0.2億円
2023年3月31日時点適合状況（当社試算）		適合	適合	不適合	適合	不適合
計画期間				2024年3月末		2024年12月末

※ 1 東京証券取引所が2021年6月30日時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに算定を行ったものです。

※ 2 東京証券取引所が2022年12月31日を基準に算出したものです。

※ 3 東京証券取引所が2023年3月31日時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに算定を行ったものです。

※ 4 当社が流通株式時価総額は9月29日終値831円にて、1日平均売買代金は2023年1月～8月平均にて算定しており、参考値となります。

『中期3ヶ年（2021年4月～2024年3月）経営計画書～「見える」に新たな価値を～』の最終年度となる「2024年3月期末」までに、本計画書に記載する各種取組みを進めてまいります。

1. 2024年3月期 第2四半期 決算概要
2. 2024年3月期 第2四半期 トピックス
- 3. 2024年3月期 見通し**
4. 参考資料



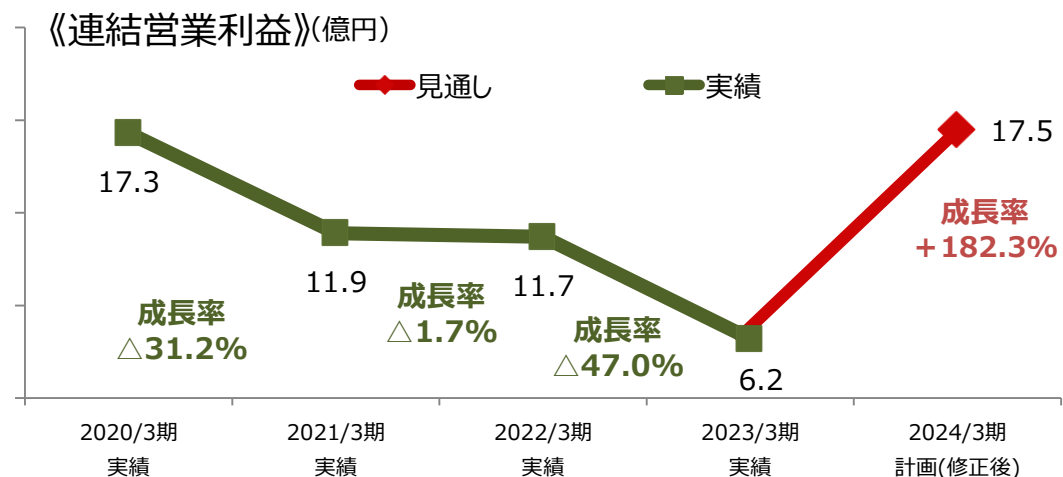
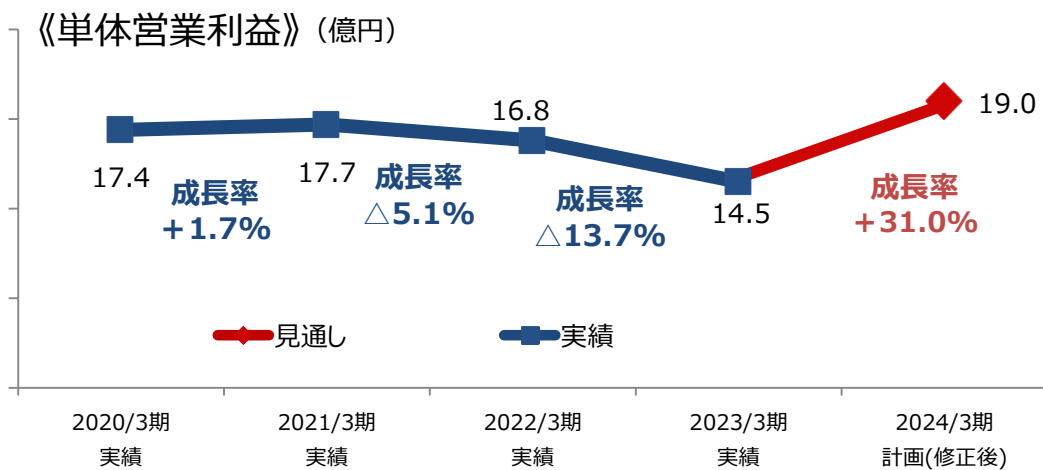
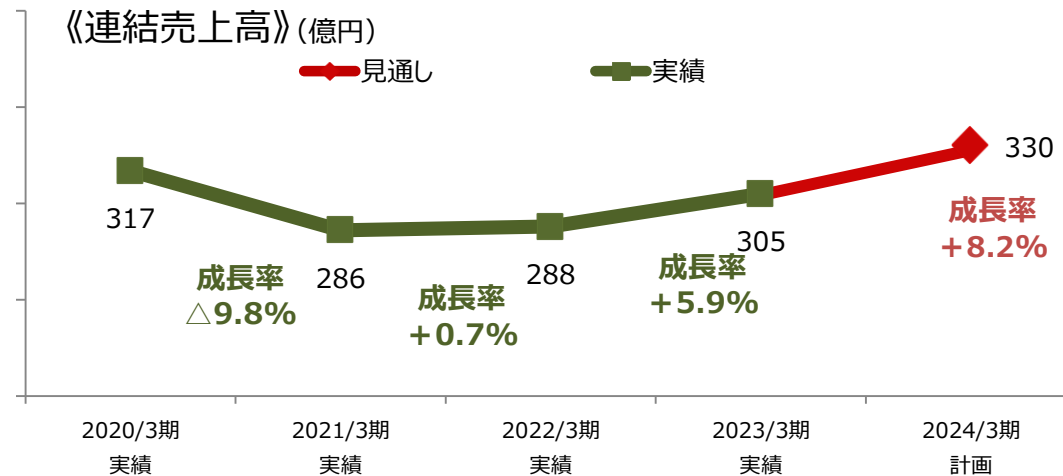
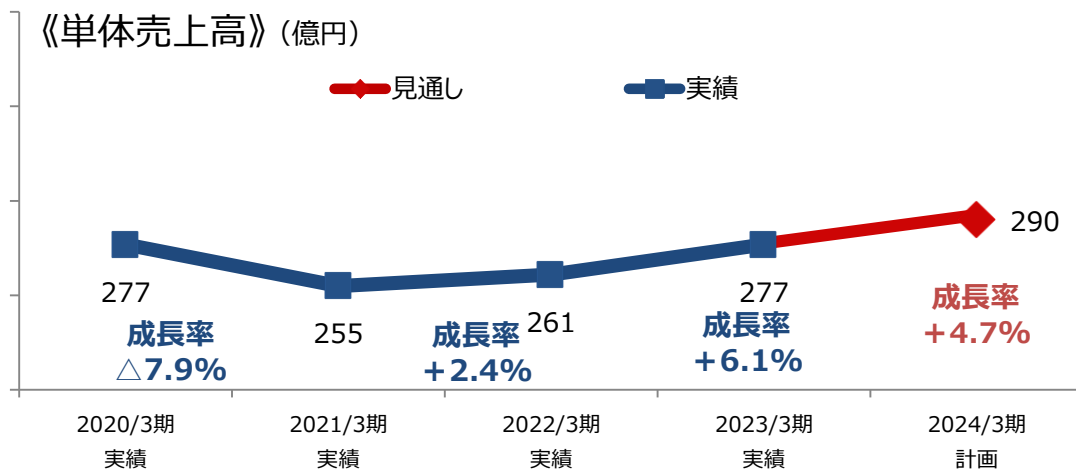
連結

[百万円]  
百万円未満切捨て

	2023年3月期	2024年3月期見通し (5/12公表値)	2024年3月期修正後見 通し(11/13公表値)	＜参考＞ 前期比較	
				増減額	増減率
<b>売上高</b>	30,593	33,000	<b>33,000</b>	+2,406	+7.9%
<b>営業利益</b>	629	1,700	<b>1,750</b>	+1,120	+177.8%
(営業利益率)	2.1%	5.2%	<b>5.3%</b>		+3.2%
<b>経常利益</b>	554	1,650	<b>1,750</b>	+1,195	+215.7%
親会社株主に帰属する <b>当期純利益</b>	△316	700	<b>1,100</b>	+1,416	—

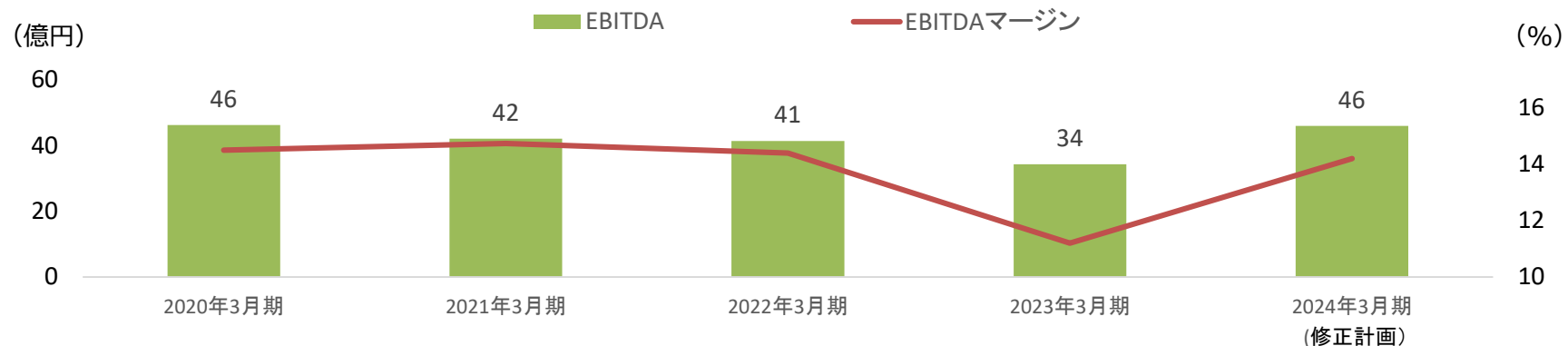
- 売上高
  - ・乱視、遠近等スペシャリティレンズの売上の増加
  - ・オルソケラトロジーレンズのシェア拡大／乱視や遠近両用レンズといった高付加価値商品の比率を拡大
  - ・中国国内自社WEBサイト（旗艦店）、中国国外自社WEBサイト（越境EC）を有効活用することにより競争が激しい市場の中で収益力を向上
- 営業利益
  - ・製造ラインの増設、エネルギー効率の改善や歩留改善を行い原価低減を通じた粗利率の向上
  - ・破棄・工程内のムダ削減による粗利率の向上
  - ・主要量販店等へのOEM商品の提供により、生産ラインの稼働率を担保
  - ・近視の進行抑制効果をもつコンタクトレンズの開発や治験、スマートコンタクトレンズの次世代モデルの開発等、今後の成長が見込まれる分野への研究開発については積極的に投資

# ～財務実績と見通し～



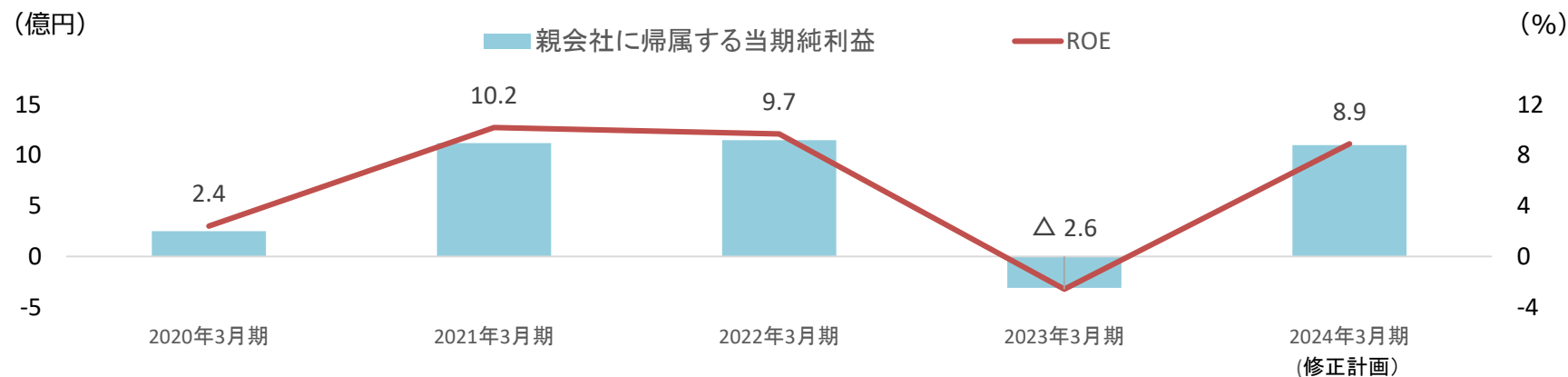
- ✓ ● 2024年3月期は遠近両用などのスペシャリティレンズ、国内向けシリコンレンズが売上を牽引し、連結売上高 330億円達成を見込む。
- ✓ ● 2023年3期に行った主力製品「Pureシリーズ」を含む値上げ効果が通期で寄与。当期も一部製品の値上げを実施、また、製造原価率の低減により、営業利益の増加を見込む。

## EBITDA



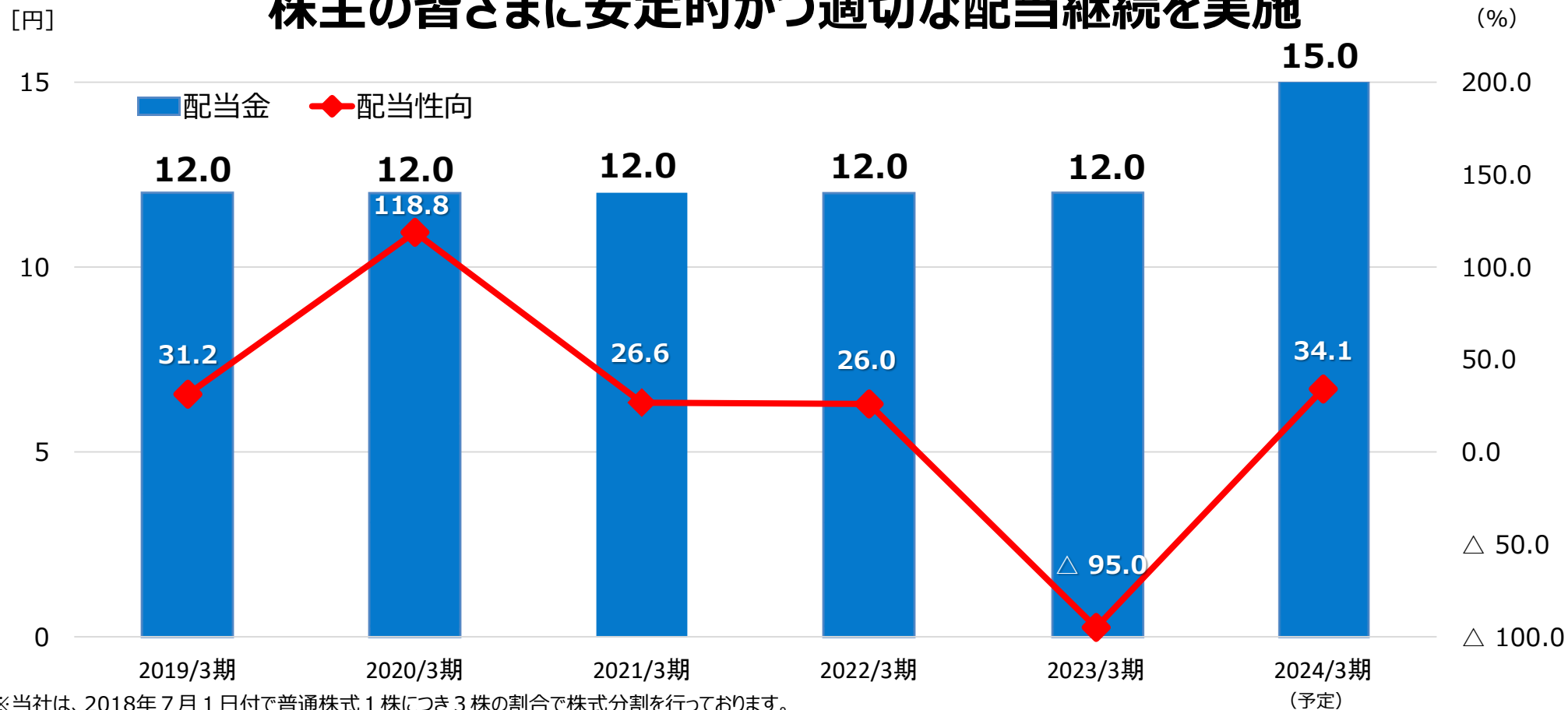
✓ キャッシュ創出力を強化し、将来EBITDA 50億円を目指す

## ROE



✓ 利益効率を高め、将来ROE 10%を目指す

## 株主の皆さまに安定的かつ適切な配当継続を実施



今後の成長戦略と、株主への安定的な利益還元を継続していくこと等を総合的に勘案

1株あたり年間配当金額  
1株につき **15円**

配当利回り：**1.8%**  
※2023年9月末日

1. 2024年3月期 第2四半期 決算概要
2. 2024年3月期 第2四半期 トピックス
3. 2024年3月期 見通し
- 4. 参考資料**

## ～「見える」に新たな価値を～

最先端の技術を活用し、高機能・高付加価値の  
コンタクトレンズを開発し、市場に新しい価値を提供していく

### （中期計画の位置付け）

効率的な生産の実現と更なる品質の向上  
非価格競争力のある商品の開発  
連結売上高400億円への足場を固める

### （シードの主要施策）

**“『Made in Nippon』と『Japan Quality』のプライドを通じて  
安全で高品質な製品とサービスを提供することを追求”**

- ✓ 日本国内での安定した成長と同時に、積極果敢な世界展開を実現
- ✓ 積極的に研究開発費用を投下し、計画的かつ確実な研究成果（商品開発）を実現
- ✓ 省人化・自動化などの技術力の向上により、規模の拡大と多品種少量生産を実現
- ✓ 検査用・治療用・医療用等の新たな付加価値をコンタクトレンズで実現
- ✓ ダイバシティとインクルージョンの推進及びカーボンニュートラルへの取り組みを実施



本社	東京都千代田区神田錦町 2-11 三洋安田ビル
設立	1957年10月9日（昭和32年）
上場	1989年12月（平成元年12月）
証券コード	7743 東京証券取引所プライム市場
資本金	1,841百万円
従業員	974名（連結） ※2023年3月末現在
営業所	8（札幌・東京・名古屋・大阪・福岡 他）、その他駐在11（盛岡・静岡 他） ※2023年9月末現在
工場・研究所	研究所：シード鴻巣研究所（埼玉県鴻巣市）

- 沿革
- 1957年10月 会社設立 商号「(株)東京コンタクトレンズ研究所」
- 1985年11月 ブランド名をマイコンから「シード（SEED）」に変更
- 1987年2月 商号変更「(株)シード」
- 1989年12月 社団法人日本証券業協会に株式の店頭登録
- 2007年7月 鴻巣研究所を竣工
- 2011年1月 鴻巣研究所 ISO13485取得、CEマーキング指令適合
- 2014年3月 東京証券取引所市場第二部に市場変更
- 2014年8月 鴻巣研究所2号棟竣工
- 2016年6月 研究棟竣工
- 2017年3月 東京証券取引所市場第一部に指定
- 2017年9月 鴻巣研究所3号棟竣工
- 2018年4月 保育・児童施設 ふくろうの森 開園
- 2020年11月 鴻巣研究所 製品・資材倉庫棟 新設
- 2021年5月 株式会社ユニバーサルビュー合併
- 2022年4月 東京証券取引所プライム市場へ移行
- 2022年10月 おかげさまで創立65周年



「東京コンタクトレンズ研究所」  
当時の社屋



鴻巣研究所



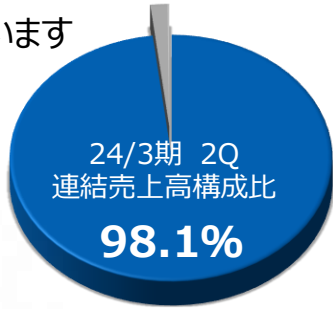
保育・児童施設 ふくろうの森



創立65周年

# コンタクトレンズ事業

1day・2weekからハードコンタクトレンズまで、広範囲の製品展開で細分化するニーズにきめ細かく対応しています



## ■国産 シードPureシリーズ



シード1dayPure  
うるおいプラス



シード2weekPure  
うるおいプラス



シード1dayPure  
View Support



シード1dayPure  
ED OF



シード1dayPure  
うるおいプラス乱視用



シード2weekPure  
うるおいプラス乱視用



シード1dayPure  
マルチステージ



シード2weekPure  
マルチステージ

Made in Nippon



## ■特殊レンズ



シード 虹彩付ソフト  
シード Bi-Expert  
ユーソフト

## ■従来型コンタクトレンズ



ハードコンタクトレンズ  
全6種7品



ソフトコンタクトレンズ  
全3種

## ■オルソケラトロジーレンズ



プレスオーコレクト®

## ■シリコンハイドロゲルレンズ

シリコンハイドロゲル



シード1daySilfa



## ■ サークルレンズ



シード Eye coffret 1day UV M

スマホ眼用

乱視用



シード Eye coffret 1day UV M View Support  
シード Eye coffret 1day UV M TORIC



ヒロインメイク 1day UV M

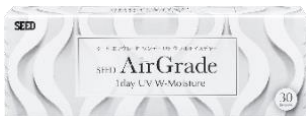
## ■ カラーレンズ



Belleme

## ■ シリコンハイドロゲルレンズ

シリコンハイドロゲル



シード AirGrade 1day UV W-Moisture

## ■ Fine UV plusシリーズ



シード1dayFine UV plus



シード2weekFine UV plus

乱視用



シード2weekFine UV plus TORIC



シードMonthlyFine UV plus

## コンタクトレンズケア用品事業

コンタクトレンズを快適にお使いいただくためのケア用品を各種提供しています。



コレクトクリーン  
オルソケラトロジーレンズ（プレスオーコレクト）  
他・酸素透過性ハードコンタクトレンズ用 タンパク洗浄液



フォレストリーフ うるおいW  
ソフトコンタクトレンズ用  
洗浄・保存・消毒・すすぎ液



ピュアティモイスト  
酸素透過性ハードコンタクトレンズ用  
酵素洗浄保存液



ジェルクリンW  
酸素透過性ハード・  
ソフトコンタクトレンズ用洗浄液

1.7%

24/3期 2Q  
連結売上高構成比

## 多様な社員の確保

### ■ 働きやすい職場づくり

- ・企業主導型保育園の開園
- ・在宅勤務
- ・フレックス制の導入
- ・時短勤務等の導入
- ・男性育休制度の推進

### ■ ダイバーシティ化

- ・外国籍社員雇用
- ・ベトナム人技能実習生の受入
- ・越境在宅勤務制度の採用

### ■ 障がい者雇用の推進

「障害者就労施設プレミアムパートナー企業」として認定  
10月23日埼玉県知事公館において認定証受領

## 災害対策

### ■ 自然災害、人災損害による被害の極少化への取り組み

- ・BCPの恒常的な推進
- ・物流拠点の分散化
- ・災害初動対応マニュアル・事業継続活動マニュアルの作成
- ・災害時における安否確認システムの導入
- ・各事業所や全社用車への防災備品設置
- ・各訓練の定期実施

\* 東京都一斉帰宅抑制推進企業に認定

## 地域・社会の問題

### ■ 行政との連携

- ・鴻巣市との包括協定締結
- ・埼玉県三芳町と「BLUE SEED PROJECT」協定書締結
- ・埼玉西武ライオンズと協力し、「SEED スタートینگキッズ」の企画協賛

### ■ 出前授業の実施

### ■ 積極的な地域活動への参加

- ・地域イベントへの積極的な参加
- ・子供向け工場見学、理科実験教室開催

\* 少子高齢化等、社会のニーズに合わせた商品や先進技術を駆使した高機能・高付加価値製品の開発

\* 富士メガネ「海外難民視力支援ミッション」にメガネフレームを寄贈

## 環境

### ■ 環境マネジメントシステムの構築

- ・カーボンニュートラル推進
- ・プラスチックリサイクル推進

### ■ 本社建設資金についてグリーンローンフレームワーク設定

### ■ エネルギー利用環境負荷低減事業適応計画の認定取得

- ・太陽光発電、エネルギー管理システムの構築、水資源の再利用

### ■ サーキュラーエコノミーシステムの構築

- ・BLUE SEED PROJECTによるブリスター回収・再資源化
- \* 日本政策投資銀行「DBJ環境格付」取得
- \* 令和3年度 彩の国埼玉環境大賞を受賞

## SNS

### シード公式

- TVCM
- 製品説明動画
- 決算説明会、株主総会、IRイベント
- IR動画
- CSR活動（理科実験教室）
- イベントの告知



### 【商品アカウント】

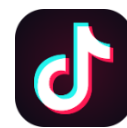
シード1dayPure View Support



シード Eye coffret 1day UV M



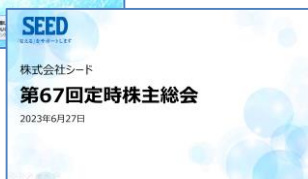
ベルミー



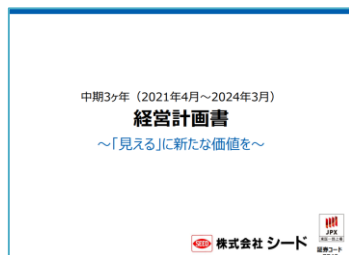
## 当社HP



2024年3月期第1四半期  
連結決算説明会



株式会社シード  
第67回定時株主総会  
2023年6月27日



中期3ヶ年（2021年4月～2024年3月）  
経営計画書  
～「見える」に新たな価値を～



IRレポート



統合報告書

決算説明会・株主総会資料

中期経営計画説明会資料

## その他

企業と個人株主・投資家をつなぐ



2022年6月20日（月）より、  
個人株主・投資家向けサービス「Sharebee」にて  
IRに関する情報・重要連絡をHPのIRサイトの掲  
載に加えて配信しております。

<https://sharebee.jp/>



## 国内子会社

\*株式会社シードアイサービス

横浜近視予防研究所株式会社

## 海外子会社

\*上海実瞳光学科技有限公司 (中国)

上海実瞳商務咨询有限公司 (中国)

\*上海実瞳健康科技有限公司 (中国)

上海実瞳視光医療科技有限公司 (中国)

\*香港実瞳健康科技有限公司 (香港)

\*台湾實瞳股份有限公司 (台湾)

\*SEED CONTACTLENS ASIA PTE.LTD.  
(シンガポール)

SEED CONTACT LENS (M)SDN.BHD  
(マレーシア)

SEED CONTACT LENS VIET NAM CO, LTD.  
(ベトナム)

\*SEED Contact Lens Europe GmbH  
(ドイツ)

\*Wöhlk Contactlinsen GmbH  
(ドイツ)

\*Wöhlk-Contact-Linsen Vertriebs GmbH  
(オーストリア)

\*Sensimed SA  
(スイス)

\*Contact Lens Precision Laboratories Ltd.  
(イギリス)

\*Ultravision international Ltd.  
(イギリス)

※2023年9月現在

\* : 連結子会社

# SEED

「見える」をサポートします

本資料に関するお問い合わせ

株式会社シード 経営企画部

TEL 03-3813-1650

またはホームページお問い合わせフォーム

<https://www.seed.co.jp/contact/>

当資料の見込みに関しては、現時点において入手可能な情報及び当社の計画・戦略に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の経済情勢・業界動向等、様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存しての投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。